

3019
1





傾城



水滸傳

初編

馬琴作

喜右衛門板

昭和十一年六月二十日

13
3019
1

けいせいの水滸傳 初編第二卷
あゝ仇なきはなほあは
つま舟の流るるや
まをまき枝よかきせみのいろよめを
はくはるるにぐるまをり
聖この山結とくしぬくあるもの

曲亭馬琴著

通油町

鶴屋喜右衛門版

壹

源物語をまとめて漫源悟をのりて漢末の俗語を解せしむる水滸
傳を剽竊をのりて何とあるもの二書や考抄通俗とれ後と釋解を
よむをたれども水滸の如く二百回のおく下を百回取らるる可
婦幼の觀物のせが送憾さ今戲小の書を編むる唐人の
東奮漢語ハ摸擬小要か因て天罡地煞星の百八の草賊を賢妻
烈女小傳易で傾城水滸傳と命さうの濫觴小室津海多遊女長古又と
のしと且掠橋の龜菊が高味小似れどかく華洛の綾技と王進小
擬さるるし又浮屠能八手を九紋龍史進小擬しるこの他越路乃
今半額戸隠の女鬼ホも東連揚春小似るるく又虎尾の櫻戸が林中
相似る花殼の阿達尼が曾智深と相似たる折龍の節此の紫進を
ある牧羊小進むも此冊子の編のよりの後春毎の寫を
接條の桜木小鑄出まぶる小

文政八年乙酉春正月新版 曲亭馬琴識



つのかげ
 角久野の
 いのちの使
 おのころ
 うとれ
 いひそ山
 ちか
 孫まごえ
 誓ふ森



美福明院の
 御使
 立掛局

みまの
 三熊野の
 仙女
 むろく
 無漏海



花を詠り
 衆氏のぬ
 心むえり
 ほこそすろ
 かうむま
 まつむ
 狂齋







文政八乙酉春新板

傾城水滸傳

進史



馬琴作 豊國画

初編

板

曲亭馬琴著 乙酉孟春第一版

附々 趣向を唐山の小説を写生し聊も唐臭をぬ大和繪の花王

彼も原來一八の天罡地煞星

傾城水滸傳 初編 第一

此ハ今昔未曾有の節婦烈女傳

并ニ世代ハ美久の故事と撮合し此も故めりぬ水滸の燕子花

歌川豊国画 通油町鶴喜新鐫

(12)

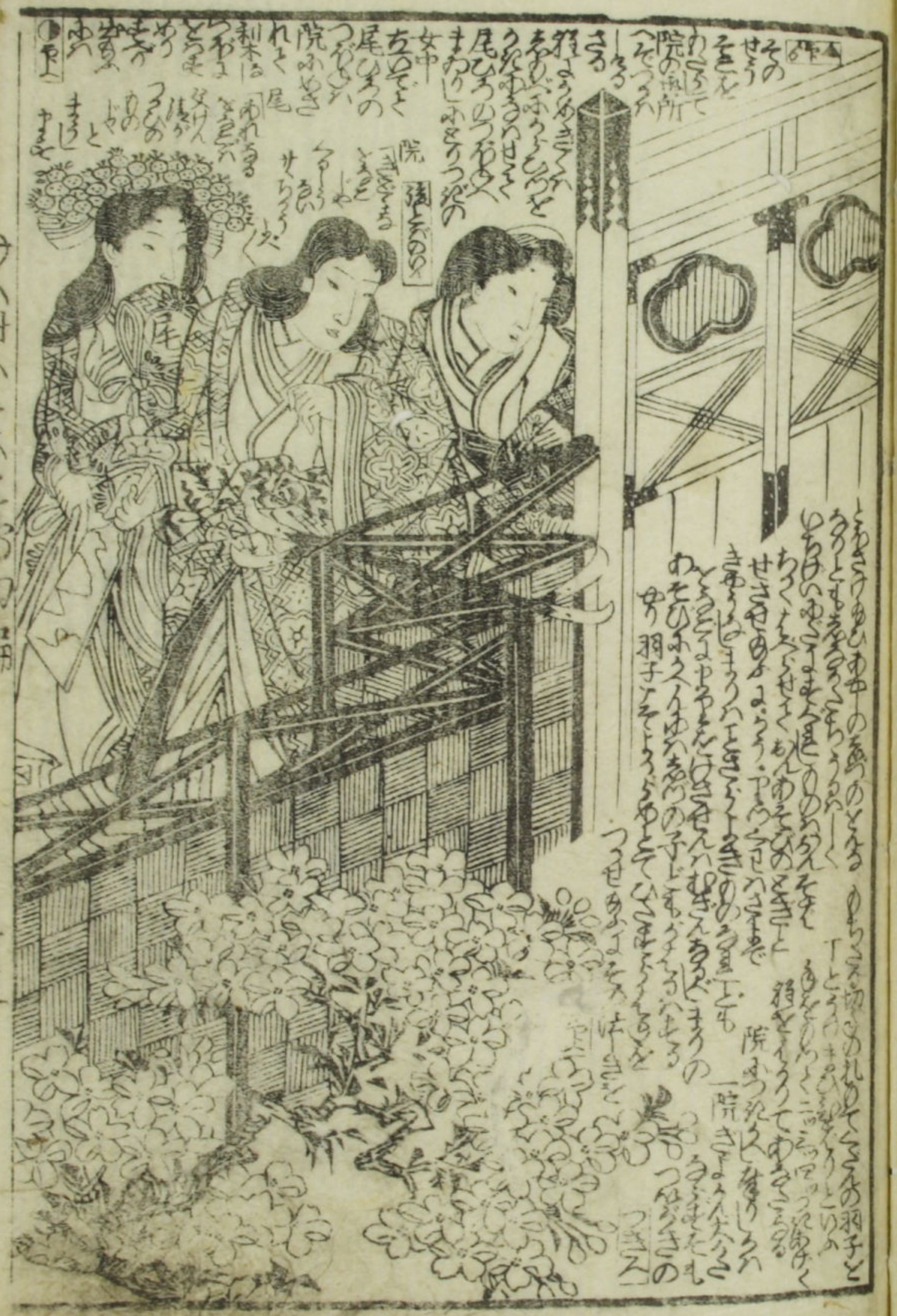


Handwritten text in vertical columns, likely a narrative or commentary, surrounding the illustration on the left page.



Handwritten text in vertical columns, continuing the narrative or commentary, surrounding the illustration on the right page.





その
院の
左の
女中
尾の
院の
利本は
まじ
まじ

この
院の
左の
女中
尾の
院の
利本は
まじ
まじ



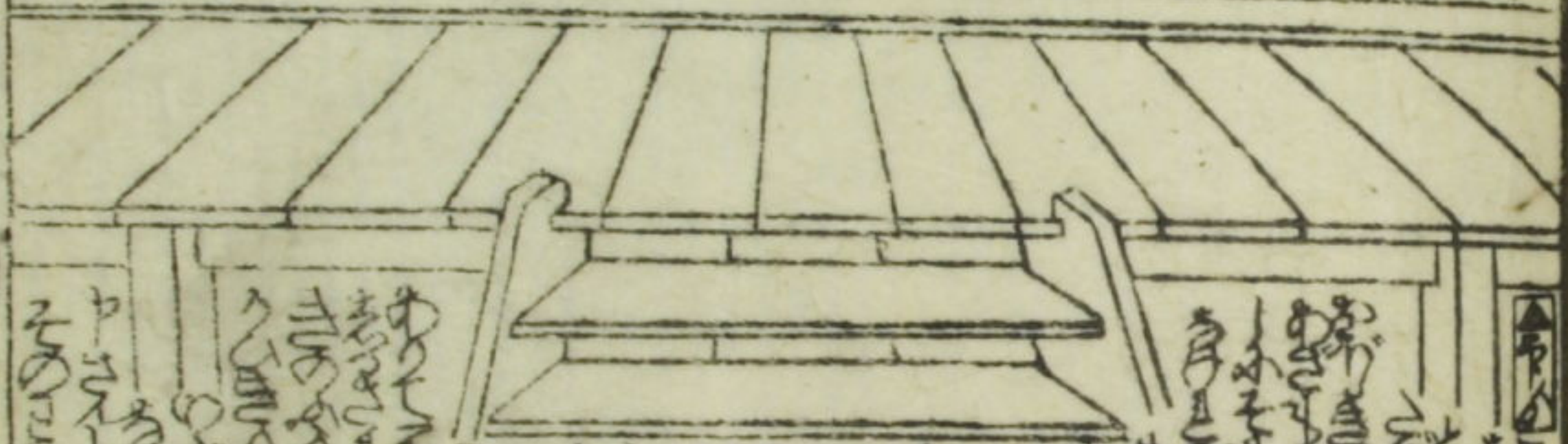
この
院の
左の
女中
尾の
院の
利本は
まじ
まじ



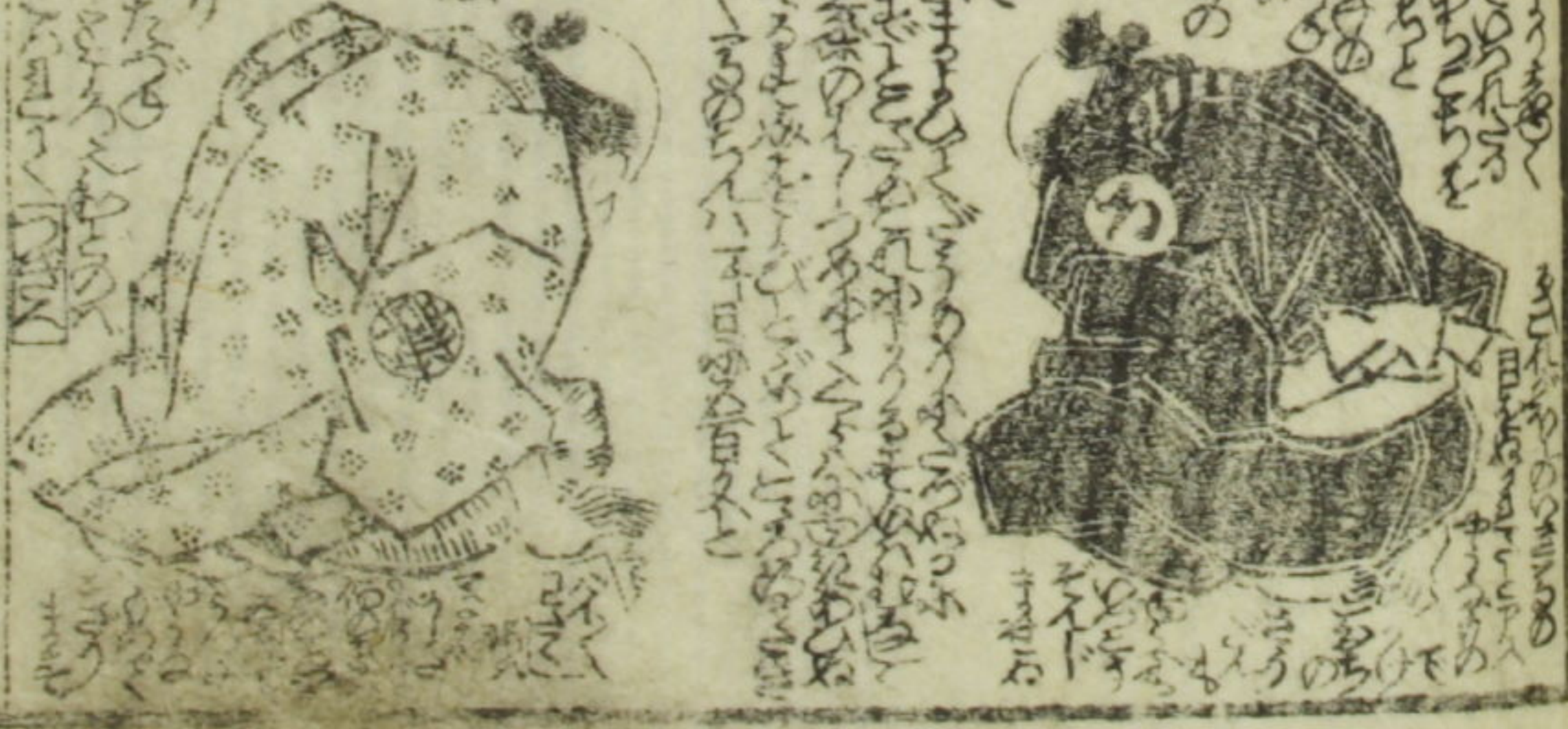




Vertical Japanese text surrounding the seated figure, likely a narrative or commentary.



Vertical Japanese text located below the bench illustration.



Vertical Japanese text surrounding the kneeling figure, likely a narrative or commentary.

Vertical Japanese text at the top of the right page, continuing the narrative.



Vertical Japanese text surrounding the standing figures, including dialogue and commentary.

Handwritten text in Japanese, likely a narrative or commentary, surrounding the illustration of a woman.



Handwritten text in Japanese, likely a narrative or commentary, surrounding the illustration of a woman.





十
八
九
十
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

し
せ
む
し
の
侍
の
御
前

家傳神女湯... 精製奇應丸... 真方熊胆思九子一包代五下... 婦人... 神...



馬珽今作 華科千形仲道

御免 日光道中記 一技摺 御役人附袋入全二冊

新日本名所之繪 唐紙摺 一技蕙齋銀形紹真筆

新女古狀擗園生竹 二本 西品出来高井蘭山編撰

早操 日光道中記 一技摺 日光道中記 一技摺

隨筆 玄同放言 初編一編六冊 第三編三冊

通油町鶴屋喜右衛門行

回文政西八新春鐫目錄回

柳亭種彦隨筆
遺魂紙料
廣益
懷中早割大全
塵劫記

新形染彩目
戲場似顏早稽古
後編
上返舎一九編

八文舎自笑評
藝品是役者評判記
全冊

東都書肆
油町翠橋西詰
鶴屋喜右衛門版

傾城水滸傳初編
全六冊
歌川馬琴作

絲櫻花本朝女訓
全六冊
歌川馬琴作

春小袖門忒摸樣
全冊
山東京山作

尾上松緑百物語
全尾上梅幸作
歌川豐國畫

美艷仙女香
全尾上梅幸作
歌川豐國畫

伊勢物語
全尾上梅幸作
歌川豐國畫

當世職人合
全六冊
柳亭種彦作

唐人賢公國性爺
全六冊
柳亭種彦作

紅網甚三
左甚五郎
柳亭種彦作

回文政西八年乙酉新出版回

イナフネ

回回 財 西 丁 羊 八 姪 女 回回

唐人讀人國世命全命
附錄其
大邑立相

富山 人合 全大
附錄其
大邑立相

美豐山 文香
附錄其
大邑立相

學士 林 翁 古 財 器
附錄其
大邑立相

春小 山 門 本 對 精 全
附錄其
大邑立相

絲 對 本 博 文 推 全
附錄其
大邑立相

謝 水 荷 對 味 絲 全
附錄其
大邑立相

曲 專 豐 國 琴 曲
附錄其
大邑立相

在 其 乃 亦 在

王進



傾城水滸傳

馬琴作
豐國画

初編

三

鶴屋
喜右衛門
板



十一年の春三月

十一



十一年の春三月

十一



右のや
山はさかたけの
松の葉はひらひら
と舞い落ちたり
竹の葉はささや
かに鳴り響く
風の音は遠く
に響きわたる
水は静かに流
れ流るる

山はさかたけの
松の葉はひらひら
と舞い落ちたり
竹の葉はささや
かに鳴り響く
風の音は遠く
に響きわたる
水は静かに流
れ流るる

十のや

十一のや



左のや
月影は清く
照らす
松の影は長く
伸びたり
竹の影は短く
切れたり
風の音は遠く
に響きわたる
水は静かに流
れ流るる

山はさかたけの
松の葉はひらひら
と舞い落ちたり
竹の葉はささや
かに鳴り響く
風の音は遠く
に響きわたる
水は静かに流
れ流るる

山はさかたけの
松の葉はひらひら
と舞い落ちたり
竹の葉はささや
かに鳴り響く
風の音は遠く
に響きわたる
水は静かに流
れ流るる

山はさかたけの
松の葉はひらひら
と舞い落ちたり
竹の葉はささや
かに鳴り響く
風の音は遠く
に響きわたる
水は静かに流
れ流るる

山はさかたけの
松の葉はひらひら
と舞い落ちたり
竹の葉はささや
かに鳴り響く
風の音は遠く
に響きわたる
水は静かに流
れ流るる

山はさかたけの
松の葉はひらひら
と舞い落ちたり
竹の葉はささや
かに鳴り響く
風の音は遠く
に響きわたる
水は静かに流
れ流るる

山はさかたけの
松の葉はひらひら
と舞い落ちたり
竹の葉はささや
かに鳴り響く
風の音は遠く
に響きわたる
水は静かに流
れ流るる

山はさかたけの
松の葉はひらひら
と舞い落ちたり
竹の葉はささや
かに鳴り響く
風の音は遠く
に響きわたる
水は静かに流
れ流るる

山はさかたけの
松の葉はひらひら
と舞い落ちたり
竹の葉はささや
かに鳴り響く
風の音は遠く
に響きわたる
水は静かに流
れ流るる

十一のや

十二のや



大正十一年八月

十五



大正十一年八月

十五

Handwritten text in the right margin of the top page.

Main body of handwritten text on the top page, written vertically in Japanese.



六

Main body of handwritten text on the bottom page, written vertically in Japanese.



Handwritten text in the left margin of the bottom page.

今更に...
 山月参宿
 身延参宿
 夏雲宿



左の上の...
 右の下...
 山月参宿...
 身延参宿...
 夏雲宿...

五所町...
 定宿...
 山月参宿...
 身延参宿...
 夏雲宿...

定宿 神々の屋
 山月参宿
 身延参宿
 夏雲宿



右の上...
 左の下...
 定宿...
 山月参宿...
 身延参宿...
 夏雲宿...

おのれは... 九十九

多岐の... 九十九



おのれは... 三十一



おのれは... 三十一

三十一



傾城水滸傳

以の
甚
ま
る
こ
と
ん

通油町
鶴屋甚右衛門板



馬琴作
曲豊國画
初編

馬琴作

初編第四

けいねんまゝの徳

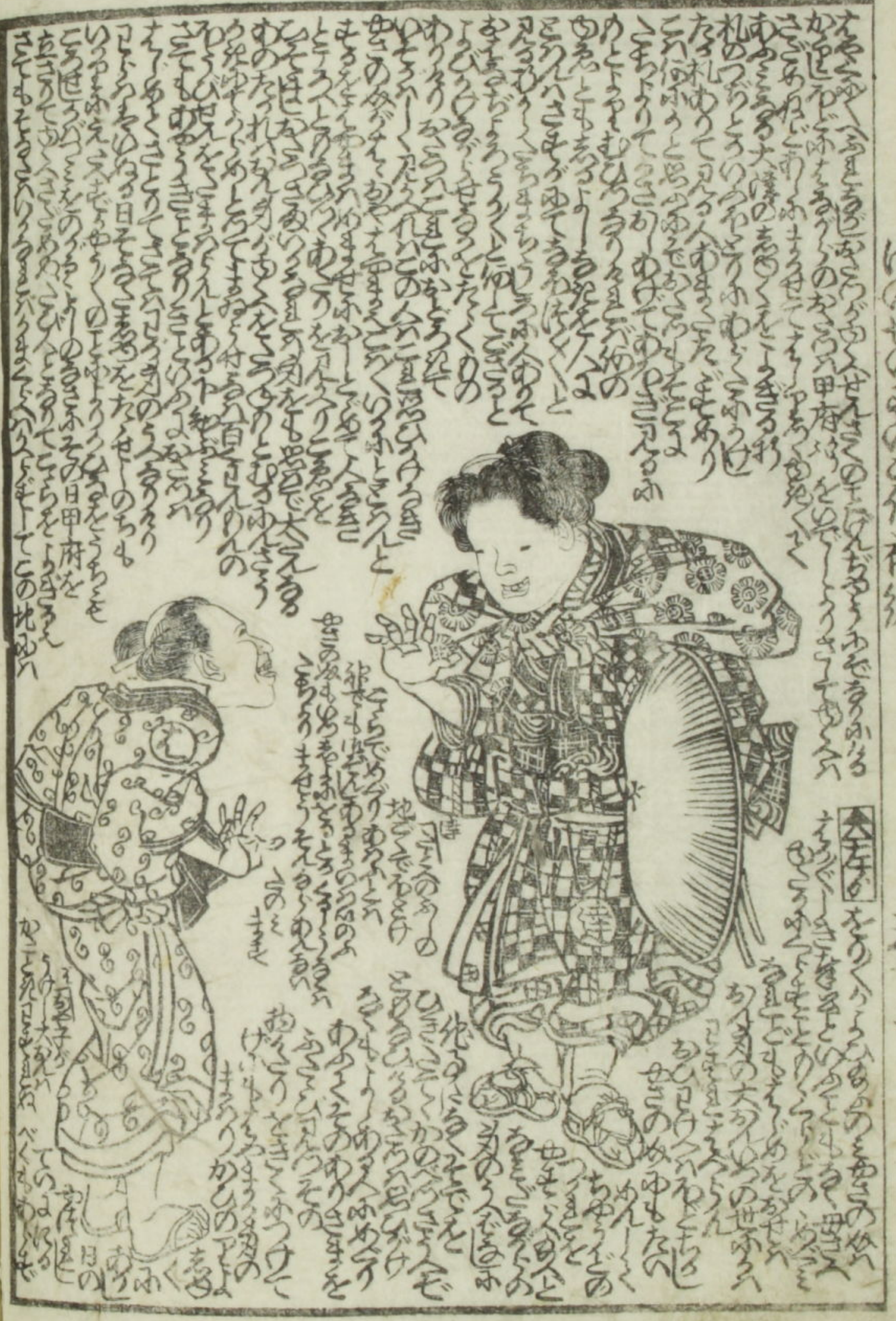
曲豆國画

仙鶴堂梓

七



下



江戸の節句

江戸の節句

江戸の節句



右の武士は... 左の女は... 武具の... 女物の...

この武士は... 女物の... 武具の... 女物の...



左の女は... 右の女は... 女物の... 武具の... 女物の...

あつたかゝるに...
 のうたの...
 山中小つ...
 けんの...
 からん...
 坊ア...



あつたかゝるに...
 のうたの...
 山中小つ...
 けんの...
 からん...
 坊ア...



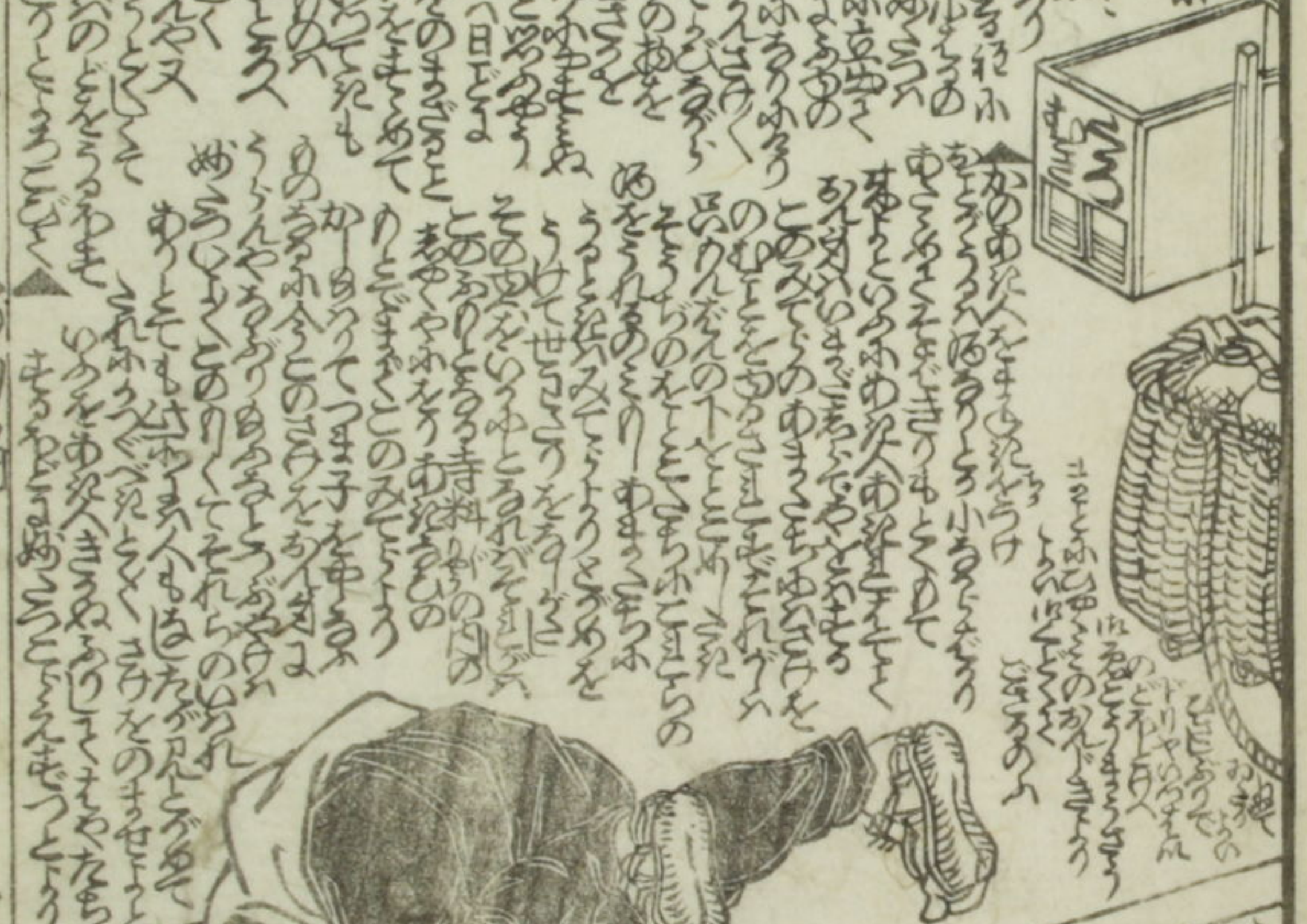


Handwritten text in a cursive script, likely a form of shorthand or a specific dialect, filling the top and right portions of the page.



Handwritten text in a cursive script, continuing from the top of the page, located below the central illustration.

Handwritten text in a cursive script, filling the top and left portions of the page.



Handwritten text in a cursive script, continuing from the top of the page, located below the central illustration.

Vertical text on the left margin of the left page, possibly a page number or a title.

功能

男子の心から出たひびきをいかに
 やさしくおぼえたいか
 ▲常におぼえたいと申しさるるを
 ▲七ヶ月をばらばら
 ▲てまのわとをてまの海と
 ▲のわはよ男を愛する心
 ▲おぼえたいと申しさるるを
 ▲てまのわとをてまの海と
 ▲のわはよ男を愛する心
 ▲おぼえたいと申しさるるを
 ▲てまのわとをてまの海と
 ▲のわはよ男を愛する心

調合賣私所

江戸東三町三丁目

坂本氏



口右の字をとり十包以上買ひかへて
 上 下の自筆の四角の紙の
 上 下の自筆の四角の紙の

御免 日光道中記 御宮御参詣供奉御役人附袋入全二冊

新日本名所之繪 唐紙摺一枚 蕙齋鋏形紹真筆

新女古状揃園生竹 大木西品出来高井蘭山編撰

早操 日光道中記 一枚摺 一枚 且乃の程を平たくそりて
 自在

玄同放言

随筆 初編二編共二冊 第三編三冊
 通油町鶴屋喜右衛門行

抄写... 遺魂紙料... 廣益... 懷中早割大全... 新形染彩目... 戲場... 似顔早稽古... 八文舎自笑評... 藝品定... 當西... 東都書肆... 仙鶴堂... 鶴屋喜右衛門版

遺魂紙料... 廣益... 懷中早割大全... 新形染彩目... 戲場... 似顔早稽古... 八文舎自笑評... 藝品定... 當西... 東都書肆... 仙鶴堂... 鶴屋喜右衛門版

新形染彩目... 戲場... 似顔早稽古... 八文舎自笑評... 藝品定... 當西... 東都書肆... 仙鶴堂... 鶴屋喜右衛門版

似顔早稽古... 八文舎自笑評... 藝品定... 當西... 東都書肆... 仙鶴堂... 鶴屋喜右衛門版

八文舎自笑評... 藝品定... 當西... 東都書肆... 仙鶴堂... 鶴屋喜右衛門版

藝品定... 當西... 東都書肆... 仙鶴堂... 鶴屋喜右衛門版

當西... 東都書肆... 仙鶴堂... 鶴屋喜右衛門版

東都書肆... 仙鶴堂... 鶴屋喜右衛門版

仙鶴堂... 鶴屋喜右衛門版

鶴屋喜右衛門版

傾城水滸傳初編全冊
曲馬琴作
仙鶴堂

絲櫻花本朝女訓全冊
曲馬琴作
仙鶴堂

春小袖門本摸樣全冊
山東涼山作
仙鶴堂

尾上松緑百物語
全尾上梅幸作
仙鶴堂

美艷仙女香... 伊勢物語... 當世職人合... 唐人鬢令... 柳屋紅藍... 雀屋白粉

柳屋紅藍... 雀屋白粉



傾城水滸傳

大政九丙戌春
新版



馬琴作
國安画

通油町
喜鶴屋
右衛門
板門

Vertical text on the right edge of the book cover, likely a library or collection number.

曲亭馬琴著

傾城水滸傳 城滸水傳

歌川國安画

此初編せし初編四冊の木の屑がまの山ゆく
けせの塚とあるは事小なるまのちのまこの年を
垂て後鳥羽院のむ時白菊は花菊がたてまのいで
至るの思尺なりこれりて縁を母子がこころいと
さひしものみぬせし統ころもまの戸かしく出るむ玉の
あひめ戸くしのまをあひ路の今もまのまのまの
花うらの逢達をこのみまのあひまのまのまの
おとろてちてこのりく長者のまのひのりて三法寺
の妙真大禪尼の弟子とまのりて剃髮得度一名を
妙達とわくこのちのちのちのちのちのちのちのち
るふ至れりそれりて後のこのちのちのちのちのち
初にも知まのちのちのちのちのちのちのちのちのち
いとの逢たりまのちのちのちのちのちのちのちのち
坂元 通油町書肆鶴屋喜右衛門謹白

壹

八百屋の賣物八百色小限も学者の千屋きれ物多し大を
語らんと欲されば駱駝山鴉もてありあり小譚らんと欲されば漁獵
角觝の下段ものけり柔れとを好は人あひ世之雪も敷るまの堅
のをも悦ぶ客あひ棒吞の喉もいまご足るまの神事舞のまのち雲雀
獨樂より速く藤八五文のまると機関泉も終ふ及びまの去
年の流行より今茲の不易ふまのちと号より先著せし
傾城水滸の初編の評判より野と岐の桜木に鴉られ甲斐も
のりまのちのちのちのちのちのちのちのちのちのちのちのち
夜並仕立も癖の馮心なるけの本店遅の美知ぐあられと鶴
屋が頭を長く七松のまのちのちのちのちのちのちのちのちのち
るたらく急々如律令法隨見の通り女才るまの序ま

文政九年丙戌春正月吉日

曲亭馬琴識





このむらさきまつ
樹卯花松

おのひまや 眞
ねらぬ
恋するも
うた名ともお
流石な一とら

著作堂

おけん
億乾通
かいぬ
老狗



あま
蟻が刈る
あま
友代

蟻齋

むねまの
野干玉

くろひめ
黒媛

白圭の沙弥軟清
 こも亦ゆきま平の
 名や負んをわごと
 せりひのてぬ
 艶美僧 狂齋



女醫者
 陸船

ナカカハシイヨニ編

三

真琴屋 阿實
 目よええぬころれ
 垢乃ともまもり
 うそや人の継手
 けくむ 簀笠

雑掌
 富安舳大夫



しんせいのあはれ

二



此の料理は...
 此の料理は...
 此の料理は...

此の料理は...
 此の料理は...
 此の料理は...



此の山は...
 此の山は...
 此の山は...

物をとて汁

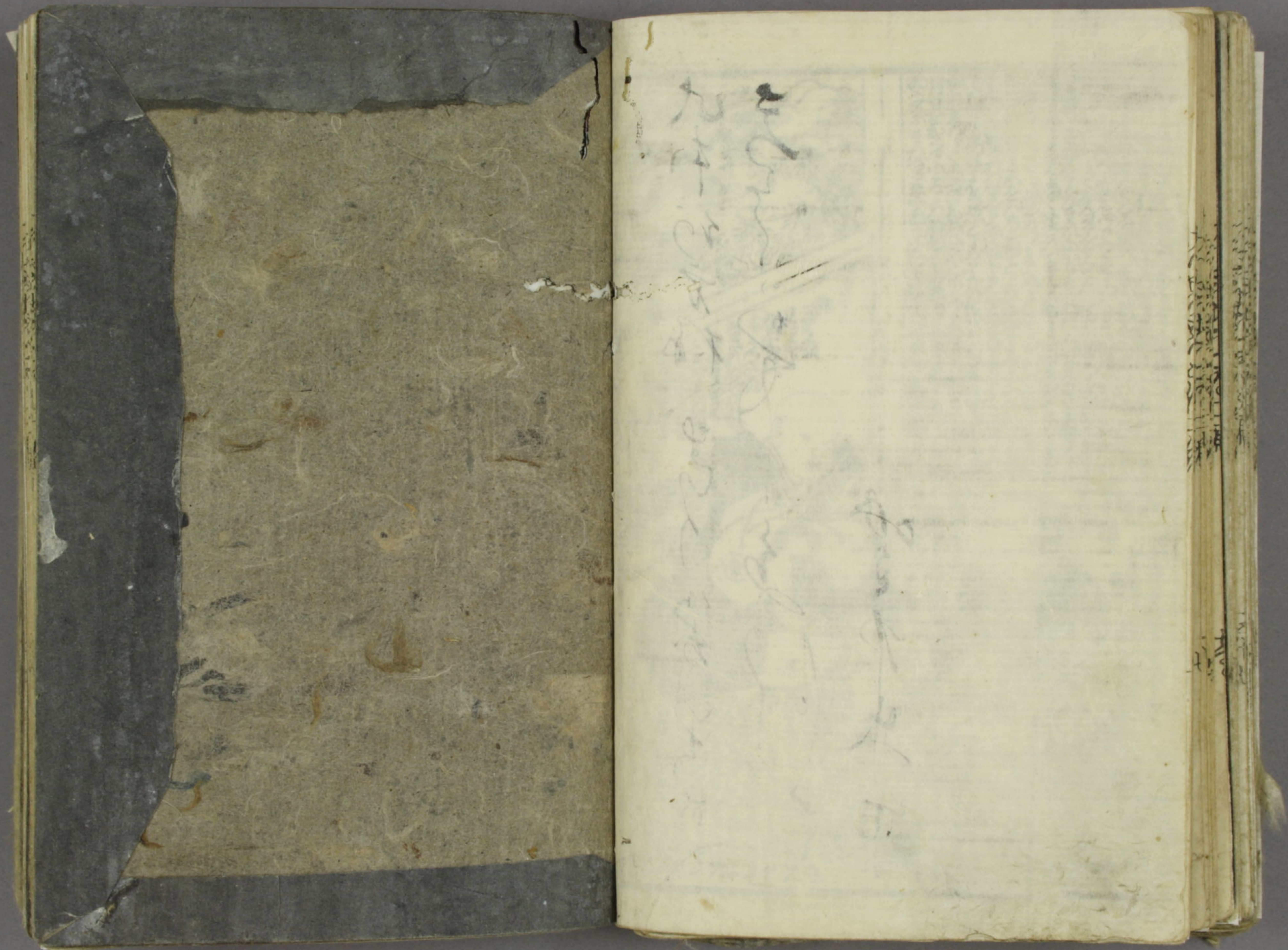
此の汁は...
 此の汁は...
 此の汁は...



190. 10. 12

191. 10. 13





Handwritten text in cursive script, possibly a list or entries, located in the upper left quadrant of the page. The text is slanted and difficult to decipher due to fading and the cursive style.

馬琴作
國安画



けいせいの

水滸

傳

二編



仙鶴堂

壽梓

第二編文二
 曲亭馬琴著
 歌川國安画
 文政九丙戌
 孟春嗣梓發
 兌仙鶴書行



十(1) 十(2) 十(3) 十(4) 十(5) 十(6) 十(7) 十(8) 十(9) 十(10)





大友の物語

十一



大友の物語

十五





ナシナシナシナシナシナシ

十一



ナシナシナシナシナシナシ

十一

Handwritten text in vertical columns, likely a commentary or a list of names, surrounding the central illustration. The text is densely packed and covers most of the page area.



Vertical text on the right edge of the illustration, possibly a title or a specific label for the scene.

Small vertical text located below the main illustration, possibly a reference or a note.

Text at the bottom right of the illustration, including the characters '仙女' (Sennyo) and other smaller text.

選魂紙料 古画八二冊 葉 柳亭種彦隨筆

豪福塵劫記 全一冊 改正勝補使すびらりて此一本一七巻

懷中早割大全 小本 ありて及中一これ初巻のそやくたふしく

新形漆彩目 插花手引系 前編出来は其いさ人の対するのやうせり

似顔早稽古 全一冊 十返舎九編 ありて及中一これ初巻のそやくたふしく

似顔早稽古 後編 野川豊国画 ありて及中一これ初巻のそやくたふしく

似顔早稽古 全一冊 野川豊国画 ありて及中一これ初巻のそやくたふしく

東都書林 仙鶴堂 鶴屋喜右衛門版

傾城水滸傳貳編 全八冊 琴作 柳亭種彦

傾城水滸傳貳編 全八冊 琴作 柳亭種彦

傾城水滸傳貳編 全八冊 琴作 柳亭種彦

傾城水滸傳貳編 全八冊 琴作 柳亭種彦

傾城水滸傳貳編 全八冊 琴作 柳亭種彦

傾城水滸傳貳編 全八冊 琴作 柳亭種彦

傾城水滸傳貳編 全八冊 琴作 柳亭種彦

傾城水滸傳貳編 全八冊 琴作 柳亭種彦

傾城水滸傳貳編 全八冊 琴作 柳亭種彦



仙鶴堂 鶴屋喜右衛門版

草紙 全六冊 柳亭種彦

草紙 全六冊 柳亭種彦

草紙 全六冊 柳亭種彦

草紙 全六冊 柳亭種彦

林沖



三編

徳川 侯爵



馬琴作

板口 喜 齋

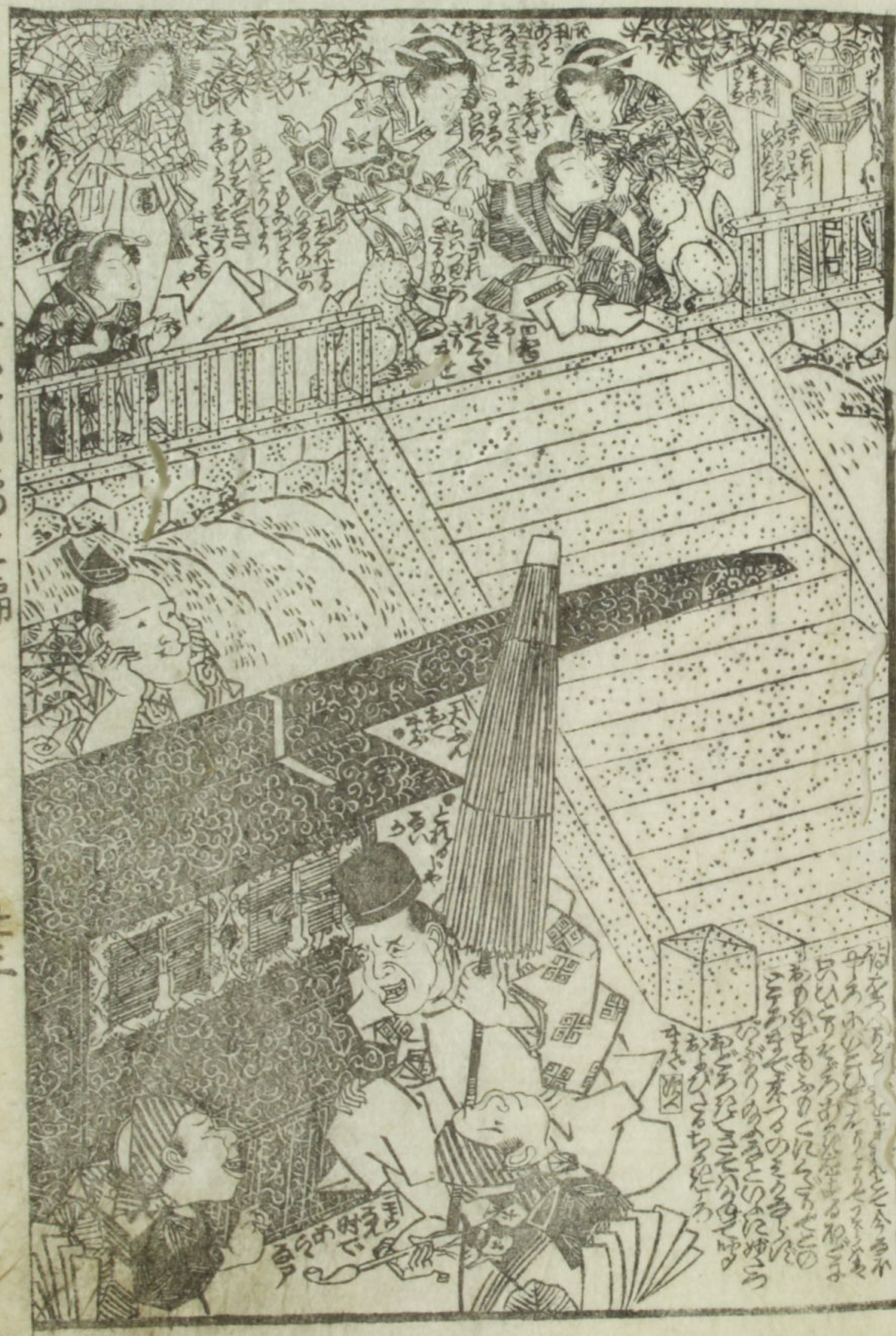


かこかきかきかきかき

か

傾城水滸傳
 第貳編之文三

けいしゅうのうきはむむけきくううがあき
 るよやよとるんひのえいぬ乃むはたき
 とほりまのあがらちあうつるやあきあの人をた



七三



七三

Handwritten text in a cursive style, likely a form of shorthand or a specific dialect, filling the upper and lower portions of the page.



Vertical text on the left margin of the page.

Small vertical text at the bottom left of the page.

Handwritten text in a cursive style, filling the upper and lower portions of the page.



Vertical text on the right margin of the page.

Small vertical text at the bottom right of the page.

Handwritten text in the right margin of the top page, likely a title or chapter heading.

Main body of handwritten text on the top page, written in a cursive style.



Small handwritten text located below the illustration on the top page.

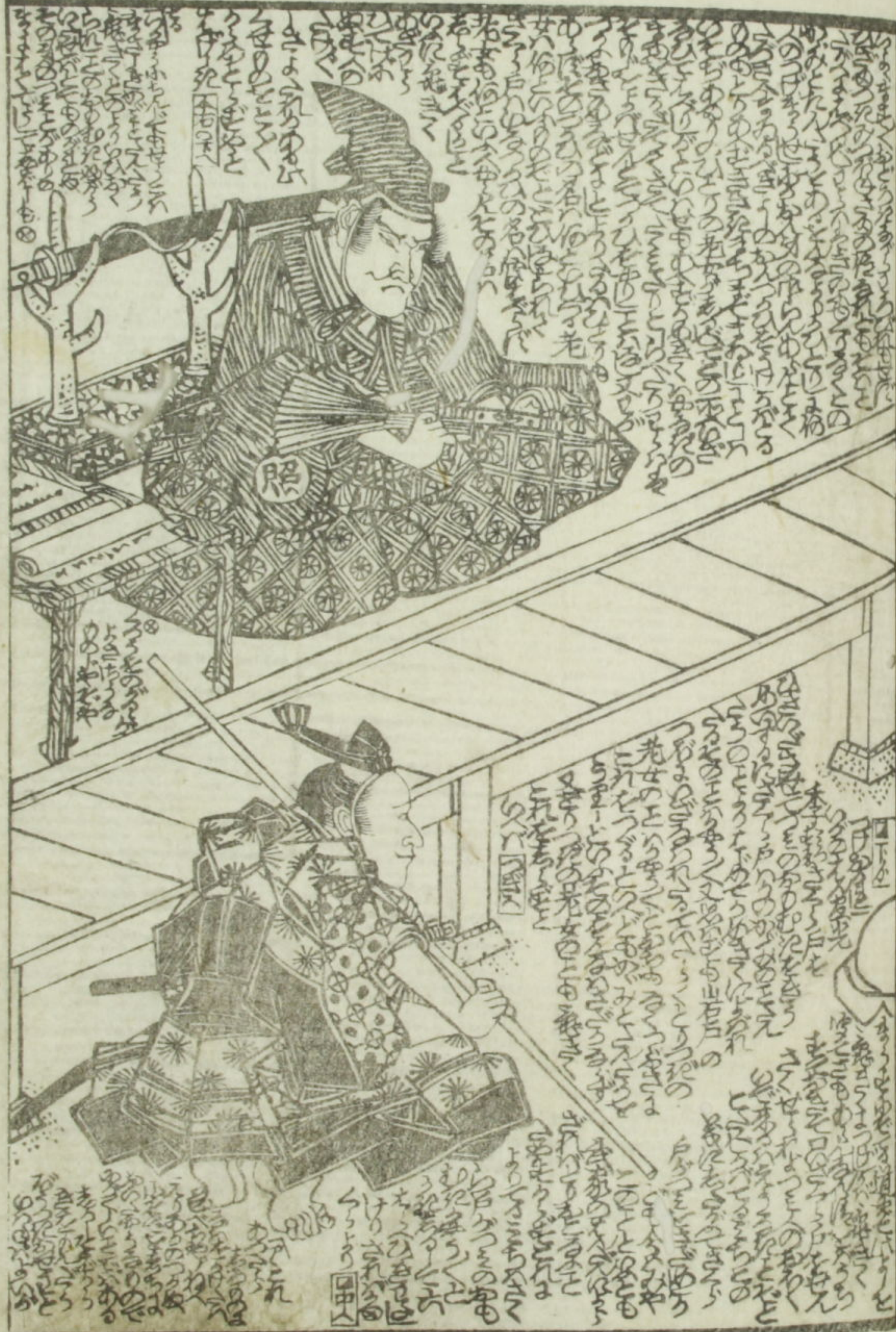


Handwritten text on the left side of the bottom page, adjacent to the landscape illustration.



Vertical handwritten text on the left margin of the bottom page.

Small handwritten text located below the illustration on the bottom page.



Handwritten text in the upper portion of the left page, written vertically in Japanese characters.

Handwritten text in the lower portion of the left page, written vertically in Japanese characters.



Handwritten text in the upper portion of the right page, written vertically in Japanese characters.

Handwritten text in the lower portion of the right page, written vertically in Japanese characters.

Handwritten text on the left margin of the left page.

Handwritten text on the left margin of the left page.

Handwritten text on the right margin of the right page.

Handwritten text on the right margin of the right page.



七
二
編

九
六



世本行方林入道の山と海と

三つ

和泉屋

五

馬琴作

國安画 文政九丙戌新版



けいせいの
まゐりこ傳

二編

四

開鑄

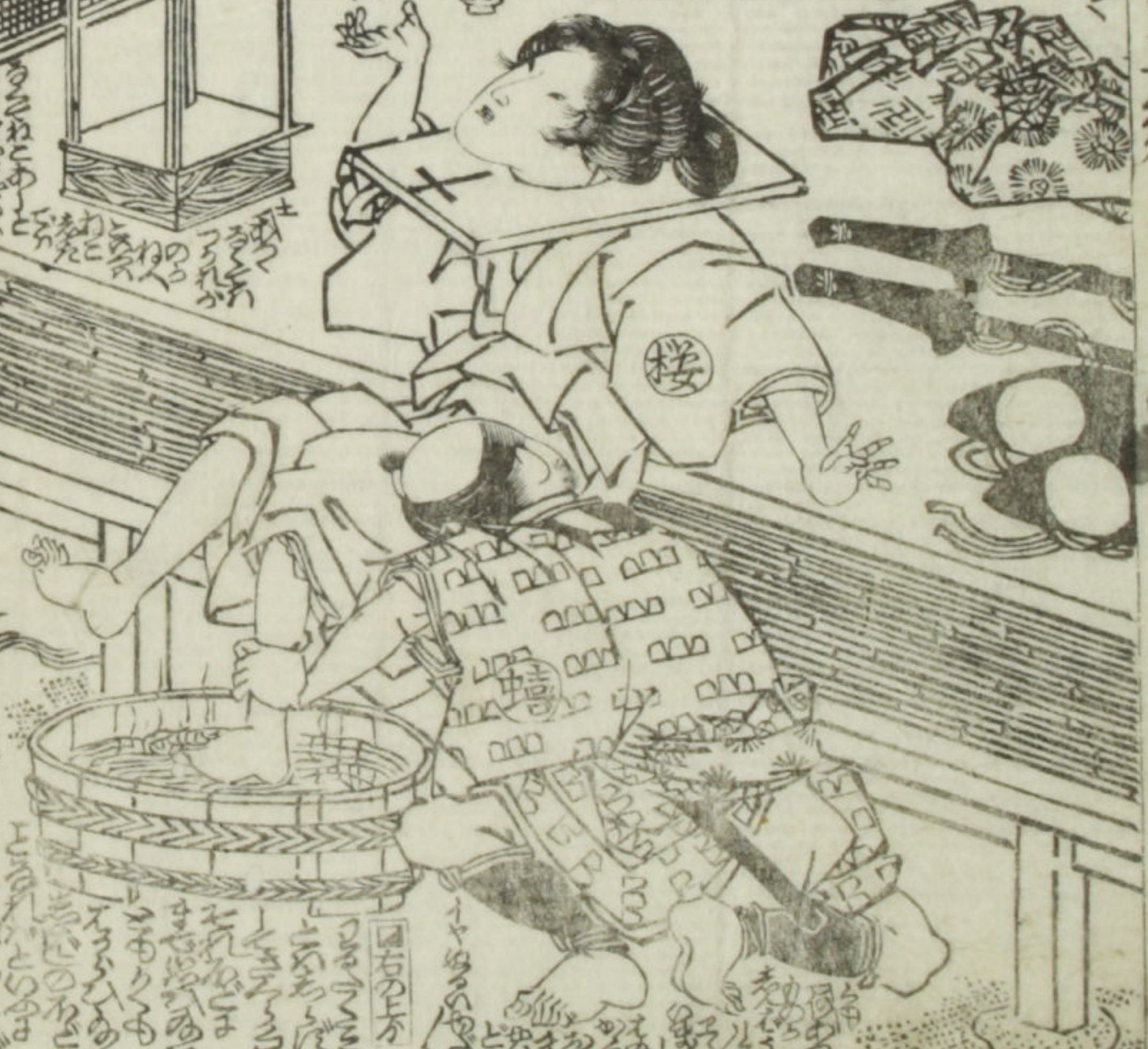


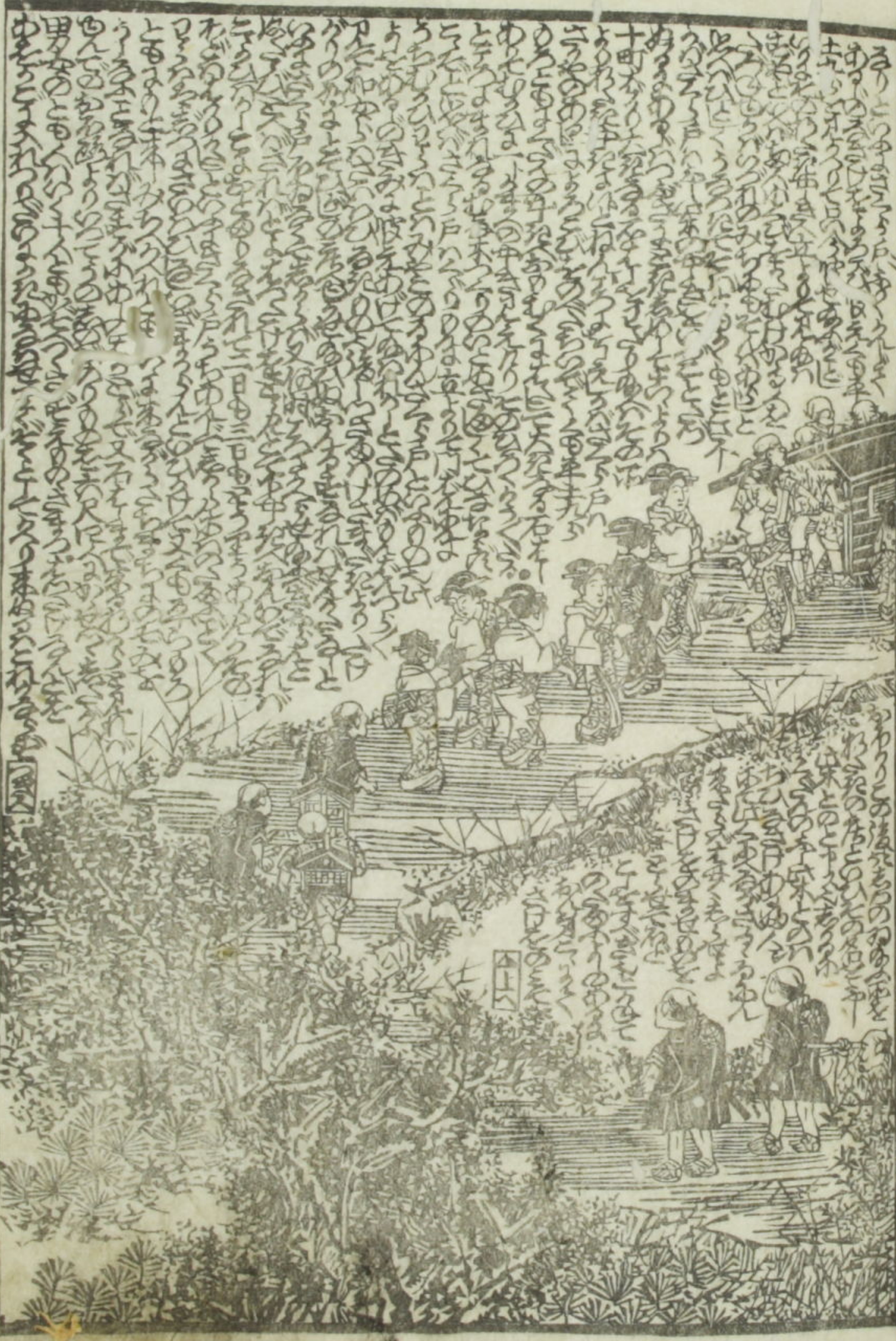
曲亭 馬琴 著
 丙戌 新板 國安 画
 けいせいの 勢
 第二 鶴喜 編之 版
 傳 四

Handwritten text in vertical columns, likely a narrative or commentary. The text is dense and covers most of the page area.



Handwritten text in vertical columns, continuing the narrative or commentary from the left page. The text is dense and covers most of the page area.





Vertical columns of handwritten text in a cursive script, likely a form of shorthand or a specific dialect. The text is densely packed and runs parallel to the top edge of the illustration.

A vertical column of text located on the left margin of the page, possibly serving as a title or a section header.



Vertical columns of handwritten text in a cursive script, located at the top of the illustration on the right page.

Vertical columns of handwritten text in a cursive script, located in the middle section of the right page, between the two illustrations.

A vertical column of text on the right margin of the page, possibly a title or a section header.

三十四

Handwritten text in a cursive style, likely a Japanese manuscript. The text is arranged in vertical columns, with some characters written in a larger, more decorative font. The text appears to be a narrative or a collection of poems, possibly related to the illustration of a woman with a staff.



Vertical text on the left margin of the page, possibly a title or a reference.

二

Handwritten text in a cursive style, continuing the narrative or collection of poems. The text is arranged in vertical columns, with some characters written in a larger, more decorative font. The text appears to be a narrative or a collection of poems, possibly related to the illustration of a woman sitting at a table.



Vertical text on the right margin of the page, possibly a title or a reference.





Vertical Japanese text columns on the left side of the page, providing a narrative or commentary related to the illustration.



Vertical Japanese text columns on the right side of the page, providing a narrative or commentary related to the illustration.



Handwritten text in Japanese, arranged in vertical columns. The text is densely packed and covers most of the page below the illustration. It appears to be a narrative or a collection of related text.

Handwritten text in Japanese, arranged in vertical columns. This text is located above the main illustration on the right page.



Handwritten text in Japanese, arranged in vertical columns. This text is located below the main illustration on the right page.

還魂紙料 古画入二冊出来 柳亭種彦隨筆

豪福塵劫記 全二冊 改正補作すべし 此一年一七〇〇年法

廣益懷中早割大全 小本 一冊 遺すべし 此一年一七〇〇年法

新形染彩目 植花手引系 前編出来は其の目録あり 此一年一七〇〇年法

芝居似顔早稽古 全一冊 十返舎元編 此一年一七〇〇年法

役者訃判記 全三冊 越後者巻のせしめあり 此一年一七〇〇年法

東都書林 油町翠橋之西 仙鶴堂 鶴屋喜右衛門版

傾城水滸傳貳編 全八冊 歌川豊國画 板棟秀佳作

情競傾城高 全六冊 歌川国安画 南仙笑楚満人作

福神御神生於金返 全二冊 新選人 此一年一七〇〇年法

尾上松緑百物語 全六冊 尾上梅幸作 江戸名物 團扇地紙問屋

美艶仙女香 世に知らるる 此一年一七〇〇年法

當世職人合 全六冊 歌川貞画 仙鶴堂 鶴屋喜右衛門板

草紙 全六冊 式傳三馬作 歌川国安画

雁金紺屋作早染 全六冊 歌川貞画

梅精草紙 全六冊 式傳三馬作

紅縮甚三 當世職人合 全六冊 歌川貞画

仙鶴堂 鶴屋喜右衛門板

左甚齋 當世職人合 全六冊 歌川貞画

仙鶴堂 鶴屋喜右衛門板

清川 雁金紺屋作早染 全六冊 歌川貞画

仙鶴堂 鶴屋喜右衛門板



